

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：木下の保育園 本牧	種別：認可保育所	
代表者氏名：佐野 友美	定員（利用人数）：78名（利用：70名）	
所在地：神奈川県横浜市中区本牧町1-36-20		
TEL：045-623-8131		
ホームページ：https://www.kinoshita-hoiku.com/facility/honmoku		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2013年（平成25年）4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 木下の保育		
職員数	常勤職員：18名 非常勤職員：8名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	園長：1名	主任：2名（うち1名看護師兼務）
	保育士：18名	栄養士：3名
	保育補助：2名	事務：1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室（6室）、ランチスペース、厨房、事務室、園庭 （設備等）トイレ（3、子ども用2大人用1）、多機能トイレ（1）シャワー（1）、沐浴設備（1）、エレベーター（1）	

③理念・基本方針

理念	『生きる力を創る』
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協調性を持ち、他者を尊重し認め合う心を育てる <ul style="list-style-type: none"> ■ のびのびと自己表現ができる環境を提供する ■ 試行錯誤をする中で考え創造し、自分で判断する力を養う ■ 探索活動を大切にし、子どもの興味や関心に寄り添う
保育目標	<ul style="list-style-type: none"> 協調性・・・仲間を大切にし、思いやりのある子ども のびのび・・・心身ともに健やかで意欲的に行動できる子ども 試行錯誤・・・最後まで諦めず行動できる子ども 探索活動・・・挑戦することを楽しみ自ら表現する子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

「コーナー保育」

子どもの主体性を大切に、興味・関心があることを存分に楽しむことができる環境作りを目指しています。

「異年齢保育」

3～5歳児は異年齢で過ごしています。また、八百屋への買い物は2～5歳の希望する児が行き、異年齢となっています。2歳児の散歩に、4歳児と一緒にいくなど日常的に異年齢で過ごす場面が多い状況です。

歯科健診では、5歳児が2歳児を迎えに行き、先にやってみせるなどの場をつくっています。様々な年齢の友だちと触れ合える機会を多く持つようにしています。

「食育活動」

朝の手伝いや、おやつのカッキングを行なっています。毎日、八百屋へ買い物へ行ったり、毎週木曜日に調理活動を行なっています。育てた野菜を収穫して調理しています。調理案を家で考えてきてもらい、そのレシピを調理に生かしています。

他には魚屋さんに来てもらい、年に一度魚の解体ショーを披露してもらったり、年長児は大家さんの庭で梅やみかんなどの果物の収穫を体験して、保育園で調理をしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年6月10日（契約日）～ 令和2年3月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子どもの主体性を大切にした保育を実践しています

保育方針の伸び伸びと自己表現できる環境の提供、興味や関心に寄り添う保育を大切にしています。コーナー保育や3～5歳児は異年齢保育を行っています。

年長児クラスの就学に向けたアプローチカリキュラムもあり、学びの基礎力の育成のための様々な活動が行われています。運動ができるコーナー、ごっこ遊びのコーナー、飼育コーナー、色々な材料や廃材で製作ができるアートコーナーなどがあり、主体的に遊びができる環境づくりを行っています。

異年齢保育を行うことでいたわりの気持ちや大きい子どもからの刺激を受ける場面が沢山あります。子どもの主体性を大切に、興味・関心があることを存分に楽しめる保育を行っています。

2)充実した食育活動を行っています

「食育年間計画」の他に「年齢別食育年間計画」を作り、様々な取り組みを栄養士と一緒に活発に行っています。3～5歳児クラスの給食はビュッフェ方式で自分が食べられる量を食器に盛り食べています。

給食に使う食材は毎日近所の商店で購入し、園内で野菜を育て収穫、調理も行っています。週1回のクッキング保育、魚の解体、果物の収穫体験など子どもが食べることへの興味が持てるような活動を行っています。

栄養士は毎日食事時間に子どもの様子を見たり感想を聞き、献立に反映しています。毎月の食育だより、試食会、展示食、レシピ提供を行っています。子どもが話し合って作りたい料理を決め、保護者に調べてもらったレシピを子どもたちがクッキングで作るなど、家庭との連携も図っています。

3)地域との交流を積極的に行っています

マンスリーニュースレターを小学校（3校）、警察署、消防署、近隣の家庭などへ子どもたちが届けて交流しています。年長児クラスは「学校探検」「図書館交流」「給食交流」「伝えようの会」など小学校と連携して活発に交流しています。

近隣住民をお誘いして、敬老の日会に来園してもらっています。地域の八百屋に給食で使う食材を子どもたちが買いに行くなど商店街とも交流があります。2月には地域の魚屋の協力で魚の解体ショーを行っています。子どもの興味・関心を引き出しながら、積極的に地域と交流しています。

◇改善を求められる点

1)中長期的なビジョンを明確にした計画の策定

中長期の事業計画においては、理念や保育方針の実現に向け、目標を明確にして関係者で共有することが必要です。目標を達成するために組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成などに関する具体的な計画を策定することが望まれます。中長期の事業計画に従って、財務面の裏付けとなる中長期の収支計画を策定することが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審したことにより、園の取り組みを振り返る良い機会となりました。

職員間での評価の違いがある項目に関しては、理解や認識の違い、行っていることや取りくみに対して共有が十分でないことに気がつきました。評価項目に沿って振り返ると、課題も多くあり、気持ちが折れそうにもなりました。

しかし、評価機関の皆様には、項目毎に丁寧に話を聞いていただき、長所を温かく認めていただきました。また、課題については分かりやすくアドバイスをいただきました。ありがとうございました。できる範囲から、話し合いをして、少しずつ取り組んでまいります。

今回、①子どもたちの主体性を大切にした保育実践、②充実した食育活動、③地域との交流を積極的に行っている点を高く評価していただきました。職員一同、開園から積み重ねてきた取り組みなので、とても嬉しく思いました。

ご多忙の中、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。いただいた内容を活かして、今後もより良い保育へ向かって取り組んでまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり